

2022(令和4年)年度の計画

事業所・委員会名 さんさんまりんこども園・支援センター

【2021年度計画・目標】

- ・認定こども園への移行3年目となり、当園の役割を全ての職員が理解し、園児に関わる職員全体の資質向上を図るとともに、外部アドバイザーによる研修等で人材育成を図ります。
- ・各年齢に応じた計画的な保育実践や世代間交流、専門性の高い講師による特色ある活動等により、質の高い保育や体験を通して豊かな人間性を育みます。
- ・保護者との信頼度を高めるよう日常的継続的に取り組みを進めます。
- ・地域子育て支援センターは、学び・支え・親子の力を引き出す場となるよう取り組みを進めます。

【2021年度報告・反省】

・「保育ドキュメンテーション」の作成を通して、ねらいを明確にした保育活動を行うと共に、保育ドキュメンテーションを媒体として保育士相互の意見交換や日々の保育の見直し、振り返りを行ったり、広島県の幼児教育アドバイザーの研修を行ったりして人材育成と保育の質的向上を図った。

・本年度、保育士全員が同じベクトルでより系統的な保育を行っていくために、保育全体計画と各クラスの年間指導計画の見直しを行った。

・丁寧な連絡帳への記述や日々の保護者連携、また「保育ドキュメンテーション」の保護者への閲覧やHP・インスタグラムでの保育活動の紹介等を通して保護者との情報共有を行い、信頼度を高める努力を行った。

・地域子育て支援センターでは、コロナ下での利用者への安全を確保しながら、イベントを実施すると共に日常の相談活動や交流等を行った。

【2022年度目標 取り組み内容】

①	【職員の資質向上及び人材育成】 ①各保育士の資質の向上を図るため、キャリアアップ研修の受講を継続すると共に個人的に希望する園外研修により自己研鑽を促し、職員個々の保育・教育の力量の向上を図る。 ②「保育ドキュメンテーション」の作成と交流を充実させることで子どもを見取る目を鍛え、保育活動の質的向上を図る。 ③外部アドバイザーの招聘による研修を継続して行っていく。
②	【計画的な保育実践や特色ある活動】 『子どもの生活や遊びを通して「生きる力」を育む』という教育目標の実現のため、 ①昨年度見直しを行った全体計画と各クラスの年間指導計画を月案や週案に具体的な活動や手立てとして反映させて系統的な保育・教育の実現を目指す。 ②専門性の高い講師やボランティアを招聘したり、子どもが楽しめるイベントを企画したりして子どもが楽しく園生活を送れるようにすると共に特色ある園経営を行っていく。 ③栽培活動を計画的に行い、努力して得た収穫物を食す喜びを通して食教育を充実させていく。
③	【保護者との信頼関係の構築】 ①保護者アンケート(令和4年1月実施予定)により保護者との信頼関係が構築できているかどうかを調べ、その結果を考察することを通して、園としての自己評価を行い、改善を図る。 また、その分析結果や今後の取組等をHPに公表することを通して、多方面からの示唆や指導をいただきながらさんさんまりんブランドを高めていく。
④	【環境構成の充実】 子ども達に主体的な活動が生まれる環境構成を行っていく。そのために、 ①ありのままの自分を出せる教師との信頼関係を築くことで温かい雰囲気、居場所をつくる。 ②自由に触れることのできる場づくりを行う。 ③時期に応じた絵本や図鑑、壁面の構成を行う。 ④じっくりと取り組める時間や場・材料・用具を準備する。 ⑤一緒に試行錯誤を繰り返すことのできるクラスづくりを行うと共に、子どもの活動を見守ったり揺さぶったりできる保育士になるよう力量を高めていく。
支援センター	【学び・支え・親子の力を引き出す場として】 コロナ渦での利用者の安心と安全を確保しながら、利用者同士の交流を充実させ、支えあう人間関係づくりの場になるよう努める。 また、保育士は支援者として利用者に寄り添い、親子の成長を阻む要因の解決に努め、様々な活動を通して刺激や学び得る機会を作り出し、親子の力を引き出すように働きかけていく。